

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名		岩瀬温水プール管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続		事務事業No. 020402000084	
		政策体系上の位置付け				単独/補助		090501	
政策体系	総合計画の施策名	O204 生涯スポーツ活動の振興				主要事業		所属課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト		スポーツ振興課	
	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業		グループ	
	手段名	02 ②快適な施設利用の推進				合併建設計画事業		スポーツ振興G	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	02	02	00	温水プール管理事業(岩)		
法令根拠						単年度繰返し (平成3年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 所在 桜川市岩瀬2685-14 施設概要 一般用プール25m×13m・6コース/水深0.9m~1.1m 幼児用プール/12m×6m/水深0.7m シャワー室・更衣室・救護室 【事務事業の内容】 ・岩瀬温水プールを管理する事業である。年間を通じて市民に安全かつ快適に利用してもらうよう施設の保守管理及び貸出、監視業務を行っている。 開放時間は、午前10時から午後9時(冬季10月1日~5月31日)期間は午後8時30分まで ・管理運営には、一般非常勤職員14名がシフト制において従事し、運営管理・監視を行っている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 施設の維持管理、委託契約、嘱託職員の確保、管理全般、一般非常勤職員(交代制)の確保、使用料徴収、ボイラー管理、監視業務、館内清掃等の衛生管理業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
手段	①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
	施設の維持管理、委託契約、嘱託職員の確保、管理全般、一般非常勤職員(交代制)の確保、使用料徴収、ボイラー管理、監視業務、館内清掃等の衛生管理業務		保守点検回数(委託含む)		回	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
			利用可能日数		日	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
対象	②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
	市民		桜川市人口		人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
意図	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
	安全に温水プールを利用して水泳を楽しむことができる。		利用者数		人	23,653.00	22,372.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移					28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	7,500	7,299	7,540	7,540
			その他	千円	128	150	150	150
			一般財源	千円	19,740	19,372	20,944	20,944
	事業費計(A)	千円	27,368	26,821	28,634	28,634		
人件費	正規職員従事人数	人	1.00	1.00	1.00			
	述べ業務時間	時間	226.00	724.00	724.00			
	人件費計(B)	千円	661	2,118	2,118			
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,029	28,939	30,752			

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	O1 報酬	14,083		O1 報酬	15,615	
	O8 報償費	234		O8 報償費	272	
	O9 旅費	256		O9 旅費	330	
	O11 需用費	8,944		O11 需用費	9,260	
	O12 役務費	87		O12 役務費	99	
	O13 委託料	3,217		O13 委託料	3,058	
		合計	26,821		合計	28,634

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	岩瀬温水プール管理運営事業	事務事業No.	20402000084	所属課	スポーツ振興課
-------	---------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
生涯スポーツに対する関心が高まる中、オールシーズン利用でき子供からお年寄りまで、誰もが気軽に健康の維持増進やコミュニケーションを図ることができる施設として、平成3年に総合運動公園内に建設された。平成3年11月に岩瀬温水プールが開設されたことに伴い、施設の管理運営が開始された。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
施設の経年劣化等により使用者は減少をたどっている。 リピーターは年々減少している。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報やホームページを活用し、水泳教室開催のお知らせや利用時間・使用料の告知等広報に努める。</li> <li>利用者増、経費の削減等による収支の改善を図っていくため、民間のノウハウを活用することによるメリット、デメリットについての検討をしていく。</li> <li>安全管理をするうえで必要不可欠な修繕等の予算獲得が困難な状況であるが直営にて対応している。</li> </ul>
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が支障なく利用できる、温水プールを利用して水泳を楽しむことができるようになることによって、市民の「スポーツを安心して行える環境の確保」「スポーツを楽しむ機会の増加」「健康の維持増加を図る」という結果に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民にスポーツ実践の機会と環境を提供することにより、市民の体力づくりと健康増進につながる。また、市内に施設があることで高齢者・障害者・子供にとっても利便性が高く公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の修繕や設備を充実させることにより、利用者の満足度が高まることが期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 施設の管理を廃止した場合、市民が水泳を楽しんだり水泳を通じての健康の維持増進、コミュニケーションを図る機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 指定管理者の導入を図る。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 平成25年度において、使用料の見直しを図った。結果、現行の使用料を継続することとなった。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・プールを開設する上で、設置管理者における国の「指針」に沿った管理体制が必要である。 今後は、指定されている有資格者の採用や取得が必要となる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
・利用者の安心安全及び満足度を高めるため、優先度を考慮した計画的な施設、設備の修繕を図っていく。 ・経費の削減や民間のノウハウを活用する指定管理者制度の導入を検討する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑦																							
		コスト削減優先度評価結果	③																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>